

《議題2》 その他

	意見・質問	回答
1	<p>(安部委員)</p> <p>現在、コロナの影響で地域とのカンファレンスの実施が難しくなっています。</p> <p>インターネットを使用しての会議を実施していますが、医療者は積極的ですが、ケアマネジャーは消極的に思われます。ネット環境に慣れないこともありますので、今後の情報共有を考えても、早々に情報共有のあり方を考えるべきだと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の長期化により、カンファレンスや会議等の開催が難しくなっていると認識しております。</p> <p>今後、ウェブ会議やICTを活用した情報共有の取組がさらに重要性を増してくるものと考えますので、区としても、引き続き、その普及と活用に向けた取組を具体的に検討していきたいと思えます。</p>
2	<p>(足達委員)</p> <p>今年はCovid-19の対応もあり、大変だったと思います。</p> <p>稚拙な意見で申し訳ありませんが、次年度以降の事業について、対面での開催や難しいことがあると予測されるため、新たな対応方法の検討が必要ではないかと思われます。</p> <p>60代前半では「風邪もひかないから医者にかからない」という方も多くいると思います。今後、健診等を通してかかりつけ医をもつ仕組みの構築が、区の事業を通して進められればと考えました。</p>	<p>来年度は、様々な事業において、ウェブ会議やICTを活用した情報共有の取組を推進していきたいと考えております。</p> <p>また、「かかりつけ医」については、病院と在宅医療の橋渡しとなる重要な役割を持つとともに、今回のような新型コロナウイルス感染症により入院等が必要となった場合、その高齢者の状態を詳細に伝えていただける役割も期待されるものと考えます。引き続き、その普及に向けた取組を推進してまいります。</p>
3	<p>(鈴木委員)</p> <p>以前、知って安心「退院までの準備ガイドブック」の作成にかかわったのですが、このガイドブックはその後見直しはされているのでしょうか。</p>	<p>作成にあたっては、ご尽力いただき誠にありがとうございました。</p> <p>当該ガイドブックにつきましては、第21回在宅医療検討部会兼第11回医療介護連携専門部会で配布先に利用状況調査を行ったところです。</p> <p>調査結果を踏まえて、今後、内容の見直しや大幅な改定を行う予定です。</p>
4	<p>(井関委員)</p> <p>高齢者あんしん相談センター大塚主催で地域の医療と介護の連携を計るZOOMを利用した交流会が11月13日にあり、参加しました。初めての試みでしたが、総合病院のSMW、訪問診療、訪問看護ステーションのPT、ケアマネジャーなどが加わり、一事例に対する意見交換やコロナ対策の現状など話題に上りました。今後もう少し広く行うのもいいかと思えます。</p>	<p>高齢者あんしん相談センターで初めてWeb会議を利用した交流会を行っております。</p> <p>この取組実績を活かし、さらに多くの方にご参加いただけますよう工夫してまいります。</p>